

取扱説明書

ミキサー

JP

MANUALE D'USO

FRULLATORE

IT

INSTRUCTION MANUAL

BLENDER

EN

MANUEL D'UTILISATION

MIXEUR

FR

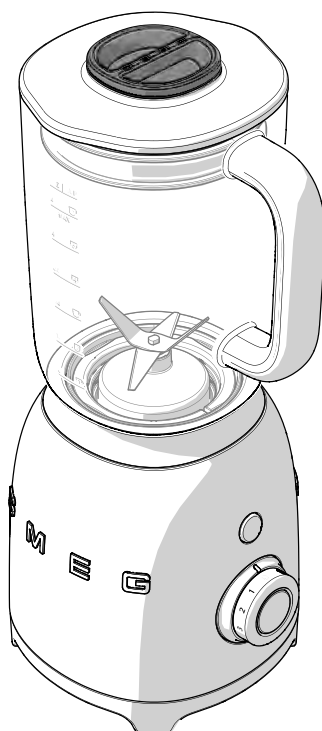
GEBRAUCHSANWEISUNG

STANDMIXER

DE



この度はイタリア SMEG 社製 レトロシリーズ ミキサーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を
必ずお読みください。読み終わったあとは大切に保管してください。



BLF01 モデルミキサー

1 注意事項	4
1.1 はじめに	4
1.2 取扱説明書に関する注意	4
1.3 取扱に関する注意	4
1.4 安全に関する注意	5
1.5 メーカー責任	7
1.6 製品ラベルに関する注意	7
1.7 廃棄に関する注意	7
2 本製品について	8
2.1 各部名称	8
2.2 各部について	9
3 ご使用について	12
3.1 初めてお使いになる前に	12
3.2 ミキサーカッターの取り外し方	12
3.3 ミキサーの使い方	14
3.4 機能について	17
3.5 スピードの設定について	18
4 お手入れについて	20
4.1 注意事項	20
4.2 ミキサー本体部分のお手入れ	20
4.3 ミキサー容器とミキサーカッターのお手入れ	20
4.4 クリーニング機能の使い方	20
4.5 部品のお手入れ	20
4.6 故障かな？と思ったら	21
5 レシピ	23



注意事項

1 注意事項

1.1 はじめに

本製品をご使用になる際の重要な情報は以下のように分類されています。



注意事項

本製品を安全にお使いいただくための情報と廃棄に関する情報が記載されています。



本製品について

本製品に関する説明が記載されています。



ご使用について

本製品の使い方に関する情報が記載されています。



お手入れについて

本製品のお手入れに関する情報が記載されています。



レシピ

レシピをご紹介します。



情報



安全に関する注意事項



ヒント

1.2 取扱説明書に関する注意

本取扱説明書は本製品の一部です本製品を廃棄するまで、大切に保管してください。

1.3 取扱に関する注意

- 本取扱説明書に記載されている「注意事項」は必ずお守りください。
- 本製品は必ず屋内で使用してください。
- 本製品は、個人もしくはご家庭で使用することを目的に設計されています。本来の目的以外のご使用はお控えください。本製品は以下の環境でもご使用いただけます。
 - ▶ 会社や事務所、店舗などの従業員用として
 - ▶ 農場や農場の宿泊施設内
 - ▶ 旅館やホテル、ペンション、民宿などの客室
- 本製品は複数の材料を混ぜる、乳化させる、氷を砕く等の調理目的で設計されています。本来の目的以外のご使用はお控えください。
- 本製品に、タイマーや外部リモコン操作機能はついておりません。
- 本製品でお子様が遊ばないようにしてください。お子様の手の届かない場所に保管してください。

《小さなお子様及び障害を持つ方への配慮》

- 感電、火傷等の事故防止のため、8歳未満のお子様や、身体的障害・精神的障害・知的障害・発達障害等をお持ちの方による、単独でのご使用はお控えください。お使いになる場合は、安全な使用責任を取る事ができる大人の方が必ず補助を行うようにしてください。

1.4 安全に関する注意

本製品を安全にご使用いただくため、以下の注意事項をお守りください。

- ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを破損させるようなことはしないでください。
- 電源コードは傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重たい物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと感電、ショート、火災の原因になります。
- 電源プラグに付着したほこりは定期的に取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- ご使用中は、本製品から離れないようにしてください。
- 本製品の分解や修理、改造は絶対に行なわないでください。
- ご使用後はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 万が一、本製品から発煙・発火した場合、消火には絶対に水を使用しないでください。まずは本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、不燃性のシートでミキサー全体を覆ってください。
- 本体、電源コード、電源プラグを水やその他の液体物に浸けたり、濡らしたりしないでください。感電、ショートのおそれがあります。
- 食器洗い機で本製品を洗わないでください。
- 使用中のガスレンジや高温になっている IH 調理器の近く、もしくは加熱されたオーブンの中に置かないでください。
- 湿気の多い場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 事故防止のため、延長コードを使用しないでください。
- 電源コードを鋭利な物の近くに置いたり、引きずったりしないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損している場合、もしくは本製品を床に落とした等、何らかの理由で破損した場合は、本製品を使用しないでください。
- 故障した場合は、専門技術者による修理が必要です。必ず「お客様相談窓口」に修理を依頼してください。
- 使用中、電源コードや電源プラグが異常に熱くなる時、もしくは電源コードが破損している場合は、ショートや発火するおそれがありますので、直ちに使用を中止し「お客様相談窓口」にご相談ください。



注意事項

本製品に関する注意

- 怪我もしくは本製品の破損を防ぐため、手や髪の毛、衣服等を、ミキサーカッターに近づけないよう注意してください。
- 使用中は回転しているミキサーカッターに手や指を近づけないでください。また、容器の中に箸やスプーンなどを入れないでください。怪我をしたり、本製品が破損したりするおそれがあります。ミキサーの電源が入っていない状態であれば、木やプラスチック製のへらをご使用頂けます。
- お手入れの際はミキサー容器内を空にし、ミキサーカッターに直接手を触れない等、取り扱いには十分注意してください。
- 使用していない時やお手入れを行う際、もしくは故障した場合は、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。またお手入れの際は、本製品が完全に冷めた状態で行ってください。
- ミキサーの電源を入れる前に、ふたがしっかりと閉まっているか確認してください。ふたをつけていない状態でミキサーを使用しないでください。
- ミキサー容器に上限（1.5ℓ）を超える食材を入れないでください。
- ミキサー容器に 40℃以上の熱い材料は入れないでください。
- ミキサー容器に熱い食材を入れる際は、必ず室温になるまで冷ましてから使用してください。
- ミキサーカッター等、動く部品には直接手を触れないよう注意してください。
- 本製品は、必ず傾斜の無い平らで水気の無い場所でご使用ください。
- 中身が空の状態でもミキサーの電源を入れないでください。
- ミキサーを他のメーカーの部品や付属品と組み合わせて使用しないでください。
- メーカーが推奨する純正部品のみを使用してください。メーカーが推奨していない交換部品の使用は、火災や感電、怪我をするおそれがあります。
- ミキサー容器を物入れとして使用しないでください。使用後はミキサーを空の状態にしてください。
- 使用後はミキサー容器内をきれいに洗ってください。
- ミキサー容器内の食材を取り除いたり、洗ったりする際は鋭利な道具や強力な洗剤を使用せず、柔らかいスポンジと薄めた中性洗剤を使用してください。
- 8歳未満のお子様単独でのご使用はお控えください。本製品をご使用もしくはお手入れする際は、安全な使用責任を取る事ができる大人の方が必ず実施、もしくは補助を行うようにしてください。

1.5 メーカー責任

メーカーでは以下に起因する損害について、一切の責任を負いません。

- 本製品の本来の目的とは異なる使用
- 取扱説明書を読んでいない
- 本製品の改造
- 非純正部品の使用
- 安全に関する注意事項の不遵守

1.6 製品ラベルに関する注意

製品ラベルには「製品型番」「電氣的仕様」「シリアル番号」「PSE マーク」「販売元会社名」が記載されています。絶対に剥がさないでください。

- 使わなくなった本製品を他の家庭ごとと一緒に廃棄しないでください。正しい廃棄を行うことで材料をリサイクルしたり、環境を保護したりすることができます。
- 本製品の梱包材には、リサイクル可能な非汚染物質を使用しています。



プラスチック製梱包材 窒息の危険

- 梱包材もしくはその一部を放置しないでください。
- ビニール袋でお子様が遊ばないように注意してください。

1.7 廃棄に関する注意



本製品を廃棄される場合は、お住まいになられている自治体等のルールに従って適切に処分してください。



感電の危険

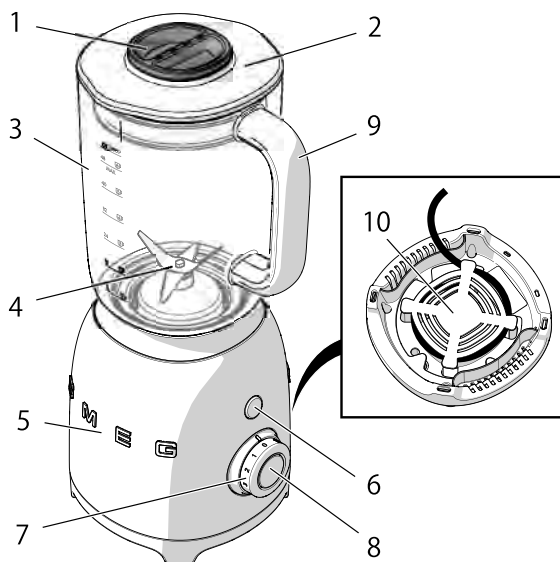
- 廃棄の際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品について

2 本製品について

2.1 各部名称



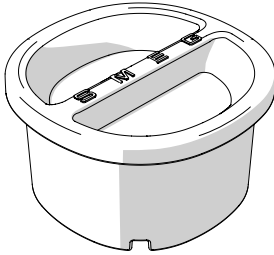
BLF01 モデル - ミキサー

- 1 計量カップ
- 2 注ぎ口付きミキサーふた
- 3 Tritan™ 製 BPA フリーミキサー容器（1.5 リットル）
- 4 ミキサーカッター（取り外し可）
- 5 ミキサー本体
- 6 パルスボタン
- 7 調節ダイヤル
- 8 スタート / ストップボタン
- 9 ハンドル
- 10 コード巻取りベース



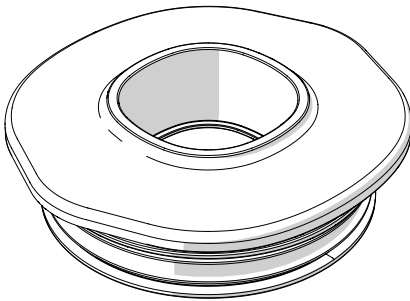
2.2 各部について

計量カップ (1)



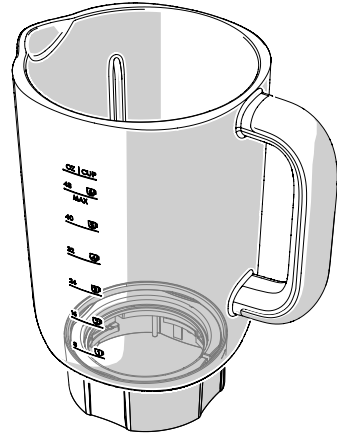
材料の計量とミキサー容器からカッターを取り外す際に使用することができる便利な計量カップです。「3.2 ミキサーカッターの取り外し方」を参照してください。

注ぎ口付きミキサーふた (2)



このふたにはパッキンがついており、ミキサー容器を密閉します。さらに、ミキサーの使用中に材料を追加しやすいため、中央に穴が開いています。

Tritan™ 製 BPA フリーミキサー容器 (1.5 リットル) (3)



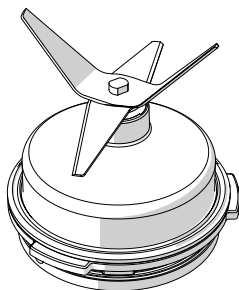
大きなミキサー容器は、安全で軽く、扱いやすい Tritan™ 製です。さらに、この Tritan™ は、衝撃や傷、高温にも優れた耐久性を持っています。ミキサー容器には注ぎ口が付いており、リットルとそれに相当するカップ量を示す目盛りが刻まれています。その容量は、最小目盛り 0.25 リットルから最大目盛り 1.5 リットルまでとなっています。



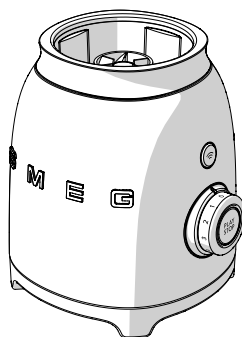
本製品について

ミキサーカッター〈取り外し可〉 (4)

ミキサー本体 (5)



ステンレス製のミキサーカッターは氷を砕いたり、ミルクセーキやスムージーやカクテルなどを作る事ができます。洗う際はミキサー容器の底部分から取り外すことができます。



内部には 500W のモーターが収納されています。



鋭利なカッター 裂傷の危険

- ミキサーカッターに手を触れないでください。
- ミキサーカッターを取り外す際は、「3.2 ミキサーカッターの取り外し方」の指示に従い、必ず、計量カップを使用してください。



本製品への損傷を避けるため、このミキサーには安全ロックが付いております。

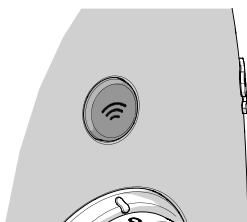
ミキサー容器が取り外されると運転を中断します。さらに、オーバーヒートを検出するとモーター保護装置が作動します。



食品と接触する付属品は現行の法律に適合した素材で作られています。

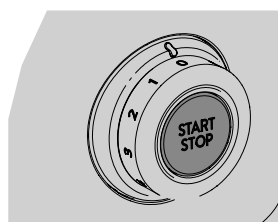


パルスボタン (6)



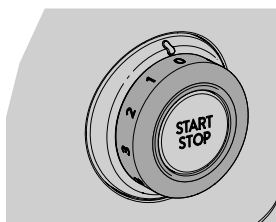
最高速度でブレンディングしたい時は、このパルスボタンを押してください。特に多くの材料を使用する時に最適な機能となっています。一度に使用できるのは2秒までとなっています。

スタート / ストップボタン (8)



ミキサーの運転を開始したり、停止したりする際は、このスタート / ストップボタンを押してください。

調節ダイヤル (7)



この調節ダイヤルでは、4段階のスピード設定に加え、スムージーモードと碎氷モードの2つのモードが備えられています。

設定するスピードに関しては「3.5 スピードの設定について」を参照してください。



ご使用について

3 ご使用について



感電の危険

- 電源プラグは適切なコンセントに差し込んでください。
- 変換アダプタを使用しないでください。
- 延長コードを使用しないでください。
- この注意が守られない場合、感電や火災、死亡事故などを招くおそれがあります。

3.1 初めてお使いになる前に

1. すべての梱包材を剥がしてから、湿らせた布でミキサーの外側部分をきれいにします。
2. ミキサーからミキサー容器を取り外します。
3. ミキサーカッターを取り外します（「3.2 ミキサーカッターの取り外し方」を参照）。
4. 洗って、しっかり水気を取り乾燥させます（「4.3 ミキサー容器とミキサーカッターのお手入れ」を参照）。



誤動作の危険

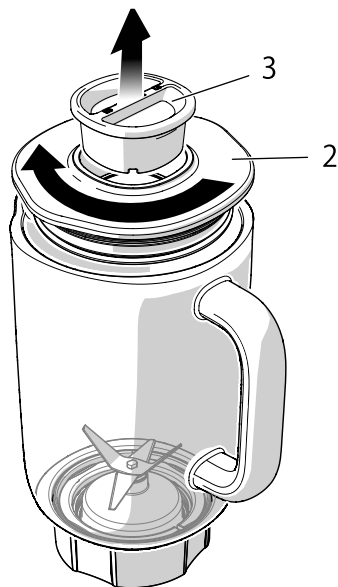
- ミキサーカッターの取り付け、取り外しを行う際は、必ずコンセントから本製品が外れているか確認してください。

3.2 ミキサーカッターの取り外し方

1. ハンドル（1）を持ち、ミキサー容器を持ち上げます。

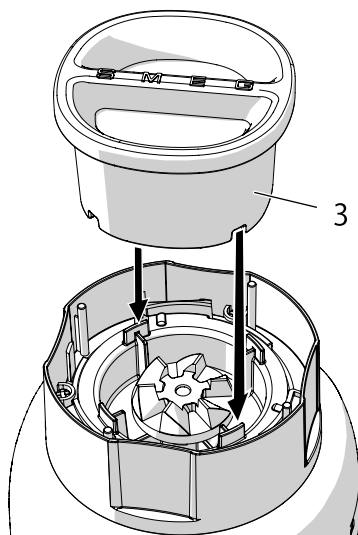


2. ふた（2）をミキサー容器から取り外して、さらに計量カップ（3）をふたから取り外します。

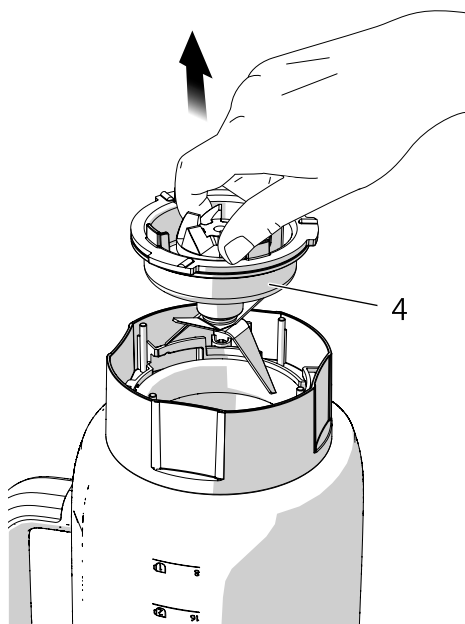
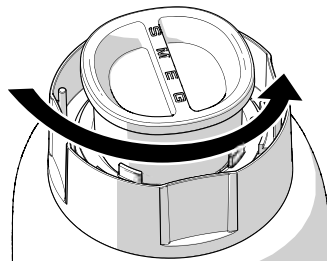




3. ミキサー容器を逆さにして、傾斜の無い安定した場所に置きます。計量カップ(3)の下部分をミキサーカッターのベース部分に差し込みます。



4. 計量カップを反時計回りに回転させて、ミキサー容器に固定されているミキサーカッター(4)を緩めます。ミキサー容器本体からミキサーカッター(4)を手で取り取ります。





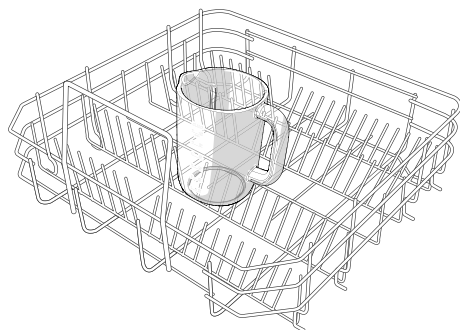
ご使用について

5. ミキサー容器と計量カップ、ミキサーカッターを洗います。
(ミキサーカッターは食器洗い機で洗わないでください)



ご使用についてのヒント

ミキサー容器を食器洗い機で洗う際は、逆さにしないようにしてください(下の図を参照)。



6. しっかり乾燥させてから、ミキサーカッターをミキサー容器にセットします。ミキサーカッターを正しい位置にセットできているか確認してください。

3.3 ミキサーの使い方

1. ミキサー容器を本体部分にセットします。



2. ミキサー容器に材料を入れます。最大容量(1.5 リットル)を超えないように注意してください。

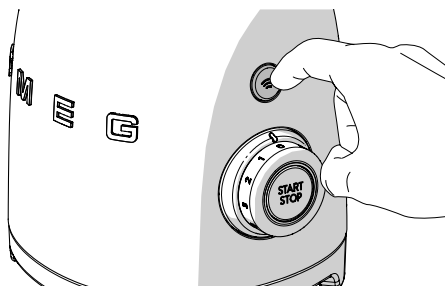




3. 計量カップをセットした状態でふたをミキサー容器にセットします。ふたがしっかり閉まっているか確認してください。

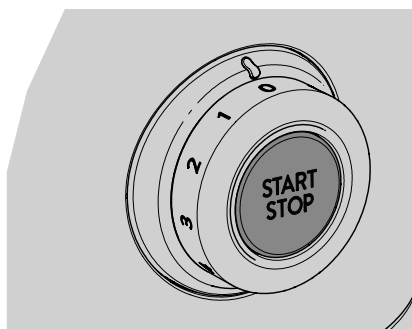


4. ミキサーの電源プラグをコンセントに差し込みます。赤いLEDランプが点灯し、電源が入っていることを確認します。お好みのスピードもしくは調節ダイヤルでプログラムを選ぶか、手動で動かす場合はパルスボタンを押します。



i このパルスボタンは単体で使用したり、調理の途中で最高速度にするために1から3のスピードと合わせて使用することができます。

5. スタートボタンを押すとブレンディングがスタートします。使用目的に適したスピード設定については、「3.5 スピードの設定について」の表を参照してください。

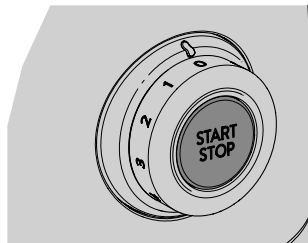
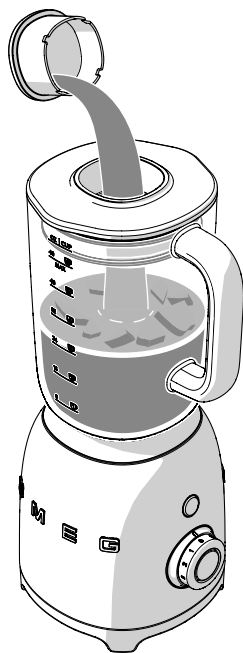


i スピード1から4は、継続してブレンディングすることができます。ストップボタンを押すことで、運転を中断させることができます。ブレンディング中でもスピードを変更することが可能です。



ご使用について

6. 運転している最中でも他の材料を追加することができます。計量カップを外して、ふたにあいた穴から追加したい材料を入れてください。
7. 終了後、1 から 4 のスピードを設定した場合は、ストップボタンを押して、調節ダイヤルを「0」に合わせた後に、コンセントからミキサーの電源プラグを抜いてください。



運転を中断する

スタート / ストップボタンを押すことで中断させることができます。



3.4 機能について

安全ロック

このミキサーには、ミキサー本体から容器を取り外すと自動でミキサーの電源が切れる安全ロック機能が備えられています。さらに、オーバーヒートを検出すると作動するモータ保護装置も備えられています。

スムーズスタート機能

スムーズスタート機能とは、調節ダイヤルで設定したスピードとは関係なく、ゆっくりとしたスピードでブレンディングを開始する機能です。

このスピードは徐々に加速し、指定した速度へと達します。

このスムーズスタート機能を使うことで、材料を徐々に処理し、ブレンディング能力を高めます。



このスムーズスタート機能はスピードが1から4に設定されている時のみ有効で、パルスモードや砕氷プログラムやスムージープログラムと組み合わせることはできません。

パルスモード

ミキサーを最高速度でブレンディングしたい時は、このパルスボタンを押してください。



このパルスモードを砕氷プログラムやスムージープログラムと組み合わせることはできません。

最適なブレンディングを実現するためにスピードを自動修正、停止する2つの機能です。

■砕氷プログラム

氷や冷凍した果物を使った飲み物をブレンディングするには、短時間で一気に処理する砕氷プログラムを使用してください。

■スムージープログラム

果物やアイスクリーム、ヨーグルトなどをブレンディングしたり、クリーミーなフラッペを作る際には、このスムージープログラムを使用してください。

《事前設定されている時間》

砕氷プログラム：約 50 秒間

スムージープログラム：約 60 秒間

いずれかのプログラムを選んだ場合、スタートボタンを押すと、ミキサーは自動で運転をスタートさせ、中央のボタンのLEDランプが点灯し、ブレンディングがスタートします。



ご使用について

3.5 スピードの設定について

スピード	使用例
 パルス	- 氷 - クリーニング機能（「4.4 クリーニング機能の使い方」）
1 または 2	- ムースやシャーベット - ドレッシング - フローズンドリンク
3 または 4	- ソースやスープ - 生クリーム - 果物や野菜のペーストやピューレ
 スムージー	- スムージー - フラッペとミルクセーキ - 冷凍果物を使ったミルクセーキ
 砕氷	- 氷 - 細かく刻んだ冷凍果物と冷凍野菜



この表に記載されているスピードは参考です。レシピと使用する材料に応じて異なることがあります。



ミキサーを使用する際の ヒント

- しっかりとブレンディングするために材料は四角状にカットすることをお勧めします。
- 乾燥した材料を使用する場合は、パルスモードを一度に 2 秒以上使用しないでください。必要に応じて、ブレンディングを中断し、へらを使ってミキサー容器の側面に付着した材料を下に落としてください。
- 水分を含んだ材料と乾燥した材料を同時に使用する際は、先に水分を含んだ材料を入れてから乾燥した材料を追加するようにしてください。
- ミキサーカッターを破損する可能性があるので、果物の芯は取り除いてください。
- 食材をミキサー容器内に放置しないでください。食材が付着したままで放置すると乾燥してしまい、取り除きにくくなる場合があります。簡単に取り除けない場合は、少量のお湯を入れて、柔らかくなるまで放置してください。



お手入れについて

4 お手入れについて

4.1 注意事項



感電の危険

- ミキサーのお手入れを始める前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ミキサー本体部分を水やその他の液体に浸さないでください。



表面を破損する危険

- 本製品のお手入れに高压スチームを使用しないでください。
- 塩素、アンモニアを使用した洗剤または漂白剤を使用しないでください。
- 研磨剤もしくは腐食性洗剤、粉末洗剤、染み抜き剤、スチール製たわし等を使用しないでください。
- 表面が粗いもの、研磨性の高いもの、もしくは鋭利な金属へらを使用しないでください。

4.2 ミキサー本体部分のお手入れ

本製品の表面をきれいな状態で保持するために、ご使用後は本体の温度が完全に冷めてから、湿らせた柔らかい布と中性洗剤で汚れを拭き取ってください。



裂傷の危険

- ミキサーカッターに手を触れないでください。
- ミキサーカッターを取り外す際は、必ず付属の計量カップを使用してください。

4.3 ミキサー容器とミキサーカッターのお手入れ

ミキサー容器及びミキサーカッターを洗う際は、鋭利な道具や強力な洗剤を使用せず、柔らかいスポンジと薄めた中性洗剤を使用してください。また、ミキサーカッターに直接手を触れない等、取り扱いには十分注意してください。

4.4 クリーニング機能の使い方

ミキサー容器とミキサーカッターは、クリーニング機能を使って洗浄することができます。

1. ミキサー容器にお湯と中性洗剤を入れます。
2. 調節ダイヤルを1に合わせます。
3. スタートボタンを押します。
4. パルスボタンを1回につき2秒間、押します。この工程を10回ほど繰り返してください。
5. ミキサー容器を取り外して、中身を捨て、すすぎ洗いをします。
6. しっかり乾燥させます。

4.5 部品のお手入れ

ミキサーのふたと計量カップは、食器洗い機で洗うことができます。

ミキサーにセットする前には、必ずしっかり乾いているか確認してください。



4.6 故障かな？と思ったら

問題	原因	対策
モーターが動かない	モーターがオーバーヒートしている	電源プラグを抜いて、モーターが冷めるまでお待ちください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込みます。変換アダプタや延長コードを使用しないでください。
	コードが破損している	「お客様相談窓口」へご連絡ください。
ミキサーが揺れる	ミキサーが安定した面に置かれていない	ミキサーを平らな安定した場所に置いてください。
	ゴムの滑り防止脚が摩耗している	「お客様相談窓口」に連絡して修理を依頼してください。
	設定スピードが早過ぎるもしくはミキサー容器内の材料が許容量を超えている	スピードを遅くする、もしくはミキサー容器内の材料を減らしてください。



お手入れについて

問題	原因	対策
ミキサーの電源は入るが、ミキサーカッターが回転しない	ミキサー容器がモータ本体に正しくセットされていない。	ミキサー容器を取り外して、専用ベースに正しくセットし直してください。
使用中にミキサーが停止する	モータがオーバーヒートしている	電源プラグ抜いて、モータが冷めるまでお待ちください。
LED ランプが点滅する	ミキサー容器が専用ベースに正しくセットされていない	ベースのミキサー容器の位置を確認してください。
使用中にミキサーが停止し、白の LED ランプが点滅する	ミキサーカッターが妨害されている	電源プラグを抜いて、へら等を使いミキサーカッターを妨害しているものを取り除いてください。



それでも問題が解消しない、もしくはその他の問題が発生した場合は、お手数をおかけしますが「お客様相談窓口」にご連絡ください。



5 レシピ

ミックススムージー

材料

種を取り除いて、細かくカットした
桃（またはその缶詰）2 個
冷凍ラズベリー 125g
冷凍イチゴ 125g
オレンジジュース 125ml
リンゴジュース 125ml

作り方

1. 桃とすべてのジュースをミキサー容器に入れます。
2. 冷凍されている果物を追加します。
3. 調節ダイヤルをスムージープログラムに合わせて、スタートボタンを押して、処理を開始します。
4. 40 秒間ブレンディングします。

豆乳

材料

黄色大豆 100g
水 1.4 リットル

作り方

1. 黄色大豆 100g を水洗いして、冷水に浸した状態で、ふたをして 18 時間から 24 時間寝かします。
2. 24 時間が経過したら、大豆をよく洗い、水を切ってから 400ml の水と一緒にミキサー容器に入れ、スピード 4 に設定して、滑らかなクリーム状になるまで、40 秒間ブレンディングします。
3. 1 リットルの水を入れた大きめのお鍋を火にかけて、沸騰直前まで加熱します。
4. ブレンディングした大豆を追加します。泡がでてきた場合、すくい取ります。約 20 分間煮ます。
5. 火を消してお鍋にふたをして、約 20 分間寝かしておきます。
6. 寝かし終えたら、出来上がった豆乳をビンに移します。こし器や無菌ガーゼを使って、少しずつ、ろ過してください。
7. お好みに応じて、バニラやはちみつ、麦芽エキス、シロップなどで豆乳に風味づけすることもできます。



レシピ

生クリーム

材料

冷えた生クリーム 500ml
パウダーシュガー 50g

作り方

1. 冷えた生クリームをミキサー容器に入れ、スピード 3 で約 30 秒間、泡立てます。
2. パウダーシュガーを追加します。
3. スピード 4 を選んで、15 秒間、完全に泡立つまでブレンディングします。

野菜のピューレ

材料

ズッキーニ 300g
水またはブイヨンスープ 100g

作り方

1. ズッキーニを蒸して、2~3cm 角に切り分けます。
2. 切り分けた野菜をミキサー容器に入れ、滑らかなクリーム状になるまで、水またはブイヨンスープを少しずつ加えながら、スピード 4 で 45 秒間ブレンディングします。

Gentile Cliente,

La ringraziamo vivamente per aver acquistato il frullatore della Linea Anni '50.

Scegliendo un nostro prodotto, Lei ha optato per soluzioni in cui la ricerca estetica e una progettazione tecnica innovativa offrono oggetti unici che diventano elementi d'arredo.

Un elettrodomestico Smeg, infatti, si coordina sempre perfettamente con altri prodotti in gamma e, nel contempo, può costituire un oggetto di design per la cucina.

Augurandole di apprezzare appieno le funzionalità del Suo elettrodomestico, Le porgiamo i nostri più cordiali saluti.

SMEG S.p.A.



Modello BLF01
Frullatore

Sommario

1 Avvertenze	28
1.1 Introduzione	28
1.2 Questo manuale d'uso	28
1.3 Destinazione d'uso	28
1.4 Avvertenze generali di sicurezza	29
1.5 Responsabilità del costruttore	31
1.6 Targhetta di identificazione	31
1.7 Smaltimento	31
2 Descrizione	32
2.1 Descrizione del prodotto	32
2.2 Descrizione delle parti	33
3 Uso	36
3.1 Prima del primo utilizzo	36
3.2 Come rimuovere il gruppo lame	36
3.3 Modo d'uso del frullatore	38
3.4 Funzioni	41
3.5 Suggerimenti per l'impostazione della velocità	42
4 Pulizia e manutenzione	44
4.1 Avvertenze	44
4.2 Pulizia della base del motore	44
4.3 Pulizia della caraffa del frullatore e del gruppo lame	44
4.4 Utilizzo dell'opzione di pulizia automatica	44
4.5 Pulizia delle altre parti del frullatore	44
4.6 Cosa fare se...	45
5 Ricette	47

Consigliamo di leggere attentamente questo manuale, che riporta tutte le indicazioni per mantenere inalterate le qualità estetiche e funzionali dell'apparecchio acquistato.

Per ulteriori informazioni sul prodotto: www.smeg.com



Avvertenze

1 Avvertenze

1.1 Introduzione

Informazioni importanti per l'utente:

Avvertenze



Informazioni generali su questo manuale d'uso, di sicurezza e per lo smaltimento finale.

Descrizione



Descrizione dell'apparecchio e degli accessori.

Uso



Informazioni sull'uso dell'apparecchio.

Pulizia e manutenzione



Informazioni per la corretta pulizia e manutenzione dell'apparecchio.

Ricette



Lista di ricette



Avvertenza di sicurezza



Informazione



Suggerimento

1.2 Questo manuale d'uso

Questo manuale d'uso costituisce parte integrante dell'apparecchio e deve essere conservato integro e a portata di mano dell'utente per tutto il ciclo di vita dell'apparecchio.

1.3 Destinazione d'uso

- Utilizzare l'apparecchio esclusivamente in ambienti chiusi.
- L'apparecchio è destinato esclusivamente ad un impiego di tipo domestico. L'apparecchio può essere utilizzato per mescolare, emulsionare vari ingredienti e tritare il ghiaccio. Non utilizzare l'apparecchio per scopi diversi dalla sua destinazione d'uso.
- Questo apparecchio è destinato ad un impiego in ambiente domestico. Ogni altro uso è improprio. Inoltre, può essere utilizzato:
 - nella zona cucina per i dipendenti in negozi, negli uffici e in altri ambienti lavorativi;
 - in fattorie/agriturismi;
 - da clienti in alberghi, motel e ambienti residenziali;
 - nei bed and breakfast.
- L'apparecchio non è concepito per funzionare con temporizzatori esterni o con sistemi di comando a distanza.
- L'uso di questo apparecchio non è consentito a persone (incluso bambini) dalle ridotte capacità fisiche, sensoriali o mentali oppure con mancata esperienza e conoscenza nell'uso di apparecchiature elettriche, a meno che non siano supervisionate o istruite da persone adulte e responsabili per la loro sicurezza.
- I bambini non devono giocare con l'apparecchio. Tenere l'apparecchio fuori dalla portata dei bambini.



1.4 Avvertenze generali di sicurezza

Seguire tutte le avvertenze di sicurezza per un utilizzo sicuro dell'apparecchio.

- Prima di utilizzare l'apparecchio leggere attentamente questo manuale d'uso.
- Spegnerne l'apparecchio immediatamente dopo l'uso.
- Non lasciare l'apparecchio incustodito mentre è in funzione.
- Scollegare l'apparecchio dalla presa di corrente prima di tutte le operazioni di pulizia e al termine di ogni utilizzo.
- Non immergere l'apparecchio, il cavo di alimentazione o la spina in acqua o qualsiasi altro liquido.
- Non utilizzare l'apparecchio se il cavo di alimentazione o la spina risultano danneggiati o se l'apparecchio è caduto a terra o si è danneggiato in qualche modo.
- Se il cavo di alimentazione elettrica è danneggiato, contattare il servizio di assistenza tecnica per la sua sostituzione per evitare qualsiasi pericolo.
- Il cavo è volutamente corto per evitare incidenti. Non utilizzare una prolunga.
- Evitare che il cavo di alimentazione entri in contatto con spigoli vivi.
- Non tirare il cavo per rimuovere la spina dalla presa di corrente.
- Non posizionare l'apparecchio sopra o vicino a fornelli gas o elettrici accesi, all'interno di un forno o in prossimità di fonti di calore.
- Non tentare mai di riparare l'apparecchio da soli o senza l'intervento di un tecnico qualificato.
- In caso di guasto fare riparare l'apparecchio esclusivamente da un tecnico qualificato.
- Non apportare modifiche all'apparecchio.
- Non tentare mai di spegnere una fiamma/incendio con acqua: spegnere l'apparecchio, togliere la spina dalla presa di corrente e coprire la fiamma con un coperchio o con una coperta ignifuga.
- Scollegare l'apparecchio dalla presa di corrente prima di tutte le operazioni di pulizia e al termine di ogni utilizzo.



Avvertenze

Per questo apparecchio

- Durante il funzionamento evitare il contatto con le parti in movimento. Tenere mani, capelli, vestiti e utensili lontano dalle lame durante il funzionamento per evitare lesioni personali o danni all'apparecchio.
- Fare molta attenzione nel maneggiare e svuotare la caraffa e durante la pulizia.
- Scollegare sempre il frullatore dalla presa di corrente se lasciato incustodito, prima del montaggio e dello smontaggio dei componenti e prima di pulirlo. Togliere la spina dalla presa di corrente quando il frullatore non è in funzione, prima di effettuare la pulizia e in caso di guasto. Lasciare raffreddare prima di effettuare la pulizia.
- Non utilizzare il frullatore senza il coperchio.
- Controllare che il coperchio sia ben chiuso prima di accendere il frullatore.
- Non riempire eccessivamente il frullatore (massimo 1,5 litri).
- Non utilizzare il frullatore in combinazione con parti o accessori di altri produttori.
- Utilizzare esclusivamente ricambi originali del produttore. L'uso di parti di ricambio non consigliati dal produttore potrebbe provocare incendi, scosse elettriche o lesioni alle persone.
- Appoggiare il frullatore solo su superfici piane ed asciutte.
- Non far funzionare il frullatore se vuoto.
- Non utilizzare il frullatore per riporre oggetti. Tenere il frullatore vuoto prima e dopo l'uso.
- Prima di introdurre liquidi caldi all'interno del frullatore, lasciarli raffreddare finché non sono a temperatura ambiente.
- Evitare di toccare le parti mobili come il gruppo lame.
- Per ridurre il rischio di lesioni e non danneggiare il frullatore, non introdurre mai le mani o utensili, come ad esempio posate, nella caraffa del frullatore mentre è in funzione. Si può usare una spatola di legno o plastica, ma solo quando il frullatore è spento.
- Non utilizzare detergenti aggressivi o oggetti taglienti per lavare o rimuovere residui dalla caraffa del frullatore.



1.5 Responsabilità del costruttore

Il costruttore declina ogni responsabilità per danni subiti da persone e cose causati da:

- uso dell'apparecchio diverso da quello previsto;
- mancanza di lettura del manuale d'uso;
- manomissione anche di una singola parte dell'apparecchio;
- utilizzo di ricambi non originali;
- inosservanza delle avvertenze di sicurezza.

1.6 Targhetta di identificazione

La targhetta di identificazione riporta i dati tecnici, il numero di matricola e la marcatura. La targhetta di identificazione non deve mai essere rimossa.

1.7 Smaltimento



Questo apparecchio deve essere smaltito separatamente dagli altri rifiuti (Direttiva 2012/19/EU).

Questo apparecchio non contiene sostanze in quantità tali da essere ritenute pericolose per la salute e l'ambiente, in conformità alle attuali direttive europee.



Tensione elettrica
Pericolo di folgorazione

- Disattivare l'alimentazione elettrica generale.
- Staccare il cavo di alimentazione elettrica dall'impianto elettrico.

- **Le vecchie apparecchiature elettriche non devono essere smaltite insieme ai rifiuti domestici!** Nel rispetto della legislazione vigente, gli apparecchi elettrici giunti a fine vita devono essere conferiti ai centri di raccolta differenziata dei rifiuti elettrici ed elettronici. In questo modo si possono riciclare materiali pregiati provenienti dai vecchi apparecchi e proteggere l'ambiente. Per maggiori informazioni contattare le autorità locali preposte o gli addetti dei centri di raccolta differenziata.

Si precisa che per l'imballaggio dell'apparecchio vengono utilizzati materiali non inquinanti e riciclabili.

- Conferire i materiali dell'imballaggio agli idonei centri di raccolta differenziata.



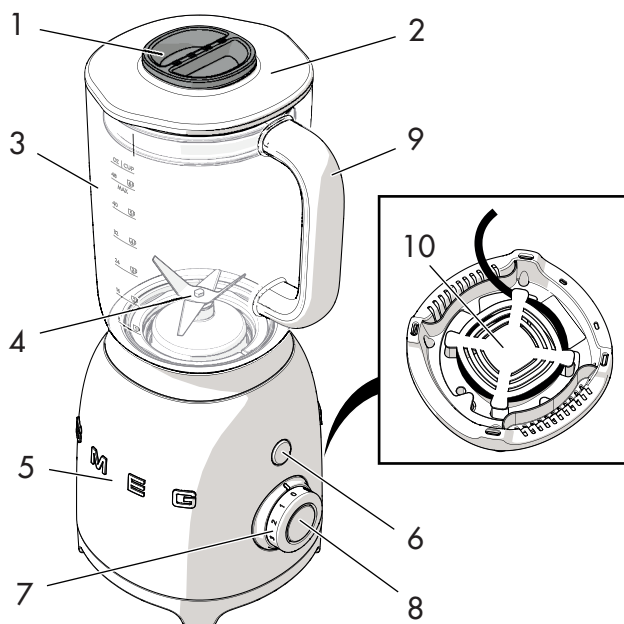
Imballi di plastica
Pericolo di soffocamento

- Non lasciare incustodito l'imballaggio o parti di esso.
- Non permettere che i bambini giochino con i sacchetti di plastica dell'imballaggio.



2 Descrizione

2.1 Descrizione del prodotto



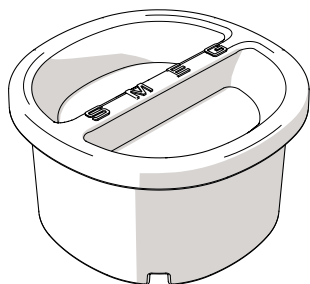
Modello BLF01 - Frullatore

- 1 Tappo dosatore
- 2 Coperchio con foro versatore
- 3 Caraffa in Tritan™ senza BPA da 1,5 litri
- 4 Gruppo lame rimovibile
- 5 Base del motore
- 6 Pulsante Pulse
- 7 Manopola di comando
- 8 Pulsante START/STOP
- 9 Maniglia
- 10 Vano avvolgicavo



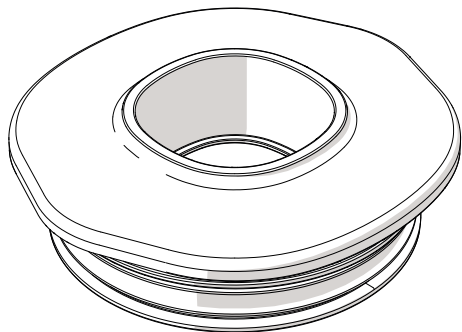
2.2 Descrizione delle parti

Tappo dosatore (1)



Comodo tappo dosatore. Può essere utilizzato per dosare gli ingredienti e per svitare il gruppo lame dalla base della caraffa. Vedi "3.2 Come rimuovere il gruppo lame".

Coperchio con foro versatore (2)



Il coperchio, dotato di guarnizione, sigilla la caraffa del frullatore e dispone di un foro nel centro per agevolare l'aggiunta di ingredienti mentre il frullatore è in funzione.

Caraffa in Tritan™ senza BPA da 1,5 litri (3)



La capiente caraffa è in Tritan™, un materiale più sicuro, più leggero e più semplice da maneggiare del vetro. Il Tritan™ è inoltre resistente agli urti, ai graffi e alle alte temperature.

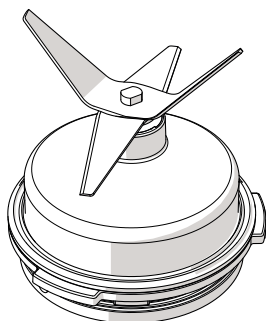
La caraffa ha un comodo beccuccio ed è graduata in litri e tazze.

La sua capacità va da un minimo di 0,25 litri (1 tazza) ad un massimo di 1,5 litri (6 tazze).



Descrizione

Gruppo lame rimovibile (4)



Il gruppo lame rimovibile in acciaio inox permette di tritare cubetti di ghiaccio o preparare frullati, frappè, cocktail, ecc. Può essere svitato dalla base della caraffa per effettuarne la pulizia.



Lame affilate

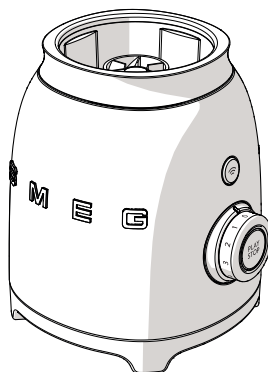
Pericolo di taglio

- Evitare di toccare le lame con le mani.
- Rimuovere il gruppo lame unicamente utilizzando il tappo dosatore, come indicato nel paragrafo "3.2 Come rimuovere il gruppo lame".



Gli accessori che possono venire a contatto con gli alimenti, sono costruiti con materiali conformi a quanto prescritto dalle leggi in vigore.

Base del motore (5)



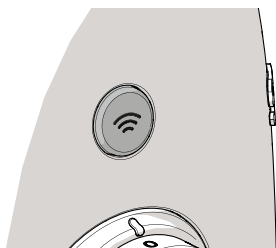
La base racchiude un potente motore da 800 Watt.



Per evitare danni all'apparecchio, il frullatore è provvisto di un **blocco di sicurezza** che ne interrompe il funzionamento quando la caraffa viene rimossa. Dispone inoltre di un **dispositivo di protezione del motore** che interviene in caso di sovraccarico.

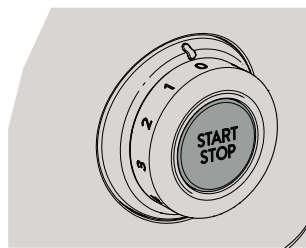


Pulsante Pulse (6)



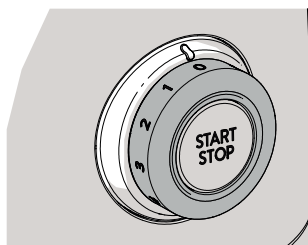
Premere il pulsante Pulse per frullare alla massima velocità. Perfetto per le operazioni più complesse. Può essere utilizzato per un massimo di 2 secondi alla volta.

Pulsante START/STOP (8)



Premere il pulsante START/STOP per avviare/arrestare il frullatore.

Manopola di comando (7)



La manopola di comando permette di selezionare una delle quattro velocità disponibili da 1 a 4.

La manopola di comando è inoltre provvista di 2 programmi pre-impostati: Smoothie e Tritaghiaccio.

Per maggiori informazioni su quale velocità impostare, vedi "3.5 Suggerimenti per l'impostazione della velocità".



3 Uso



Pericolo di folgorazione

- Inserire la spina in una presa di corrente conforme e dotata di messa a terra.
- Non manomettere la messa a terra.
- Non utilizzare un adattatore.
- Non utilizzare una prolunga.
- L'inosservanza di queste avvertenze può provocare la morte, un incendio o la folgorazione.

3.1 Prima del primo utilizzo

1. Rimuovere eventuali etichette ed adesivi dal frullatore e pulire la base del motore con un panno umido.
2. Rimuovere la caraffa del frullatore.
3. Rimuovere il gruppo lame (vedi "3.2 Come rimuovere il gruppo lame").
4. Lavare ed asciugare accuratamente (vedi "4.3 Pulizia della caraffa del frullatore e del gruppo lame").

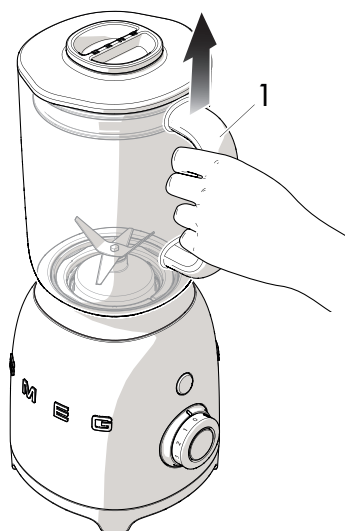


Pericolo di avvio accidentale

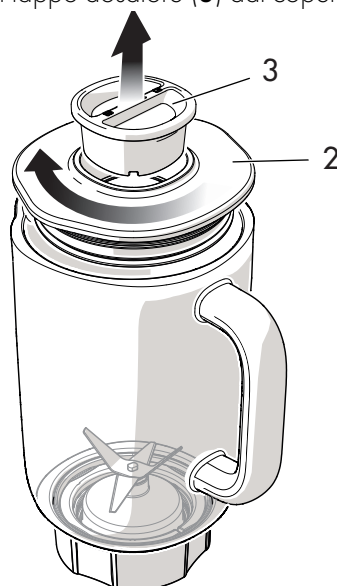
- Assicurarsi che il frullatore sia scollegato dalla presa di corrente prima di montare o rimuovere il gruppo lame.

3.2 Come rimuovere il gruppo lame

1. Afferrare la maniglia (1) e sollevare la caraffa del frullatore.

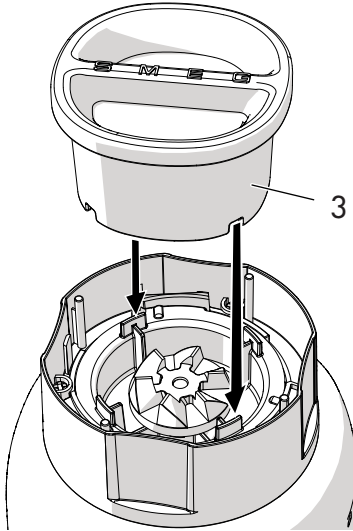


2. Rimuovere il coperchio (2) dalla caraffa e il tappo dosatore (3) dal coperchio.

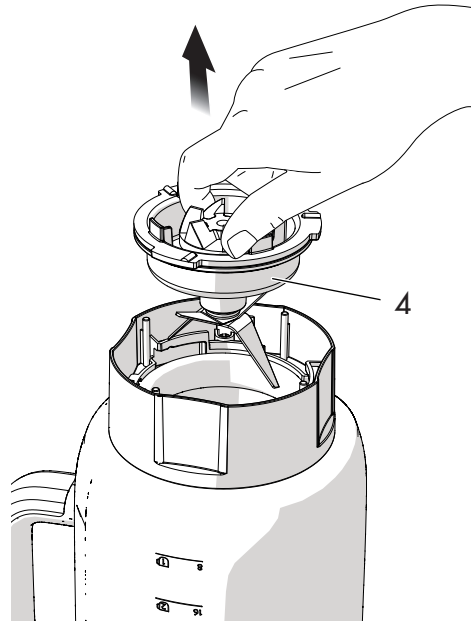
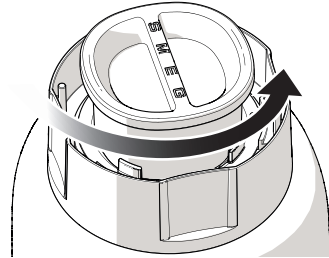




3. Capovolgere la caraffa e appoggiarla su una superficie piana. Introdurre la parte inferiore del tappo dosatore (3) nella base del gruppo lame.



4. Ruotare il tappo dosatore in senso antiorario e svitare il gruppo lame (4) dal corpo della caraffa. Rimuovere manualmente il gruppo lame (4) dal corpo della caraffa.

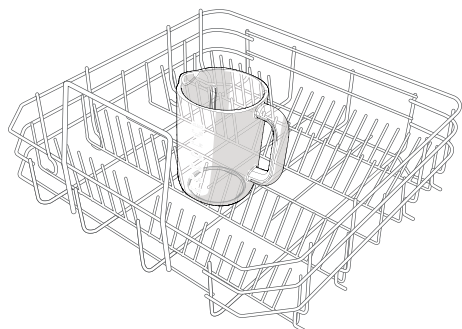




5. Lavare la caraffa, il tappo dosatore e il gruppo lame in acqua calda e sapone o in lavastoviglie (ad eccezione del gruppo lame).



La caraffa del frullatore può essere lavata in lavastoviglie inserendola senza capovolgerla (vedi figura sottostante).



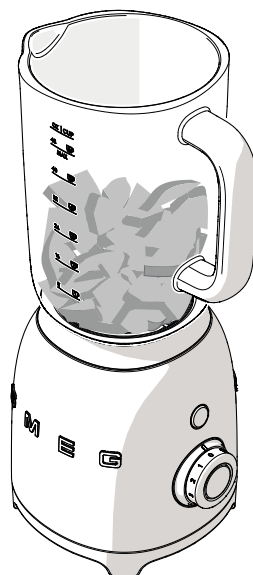
6. Asciugare accuratamente e riposizionare il gruppo lame nel corpo della caraffa seguendo le operazioni precedentemente indicate in ordine inverso. Assicurarsi di avere correttamente inserito il gruppo lame nel suo alloggiamento.

3.3 Modo d'uso del frullatore

1. Inserire la caraffa del frullatore nella base del motore.



2. Introdurre gli ingredienti nella caraffa facendo attenzione a non superare la capacità massima (1,5 litri/6 tazze).

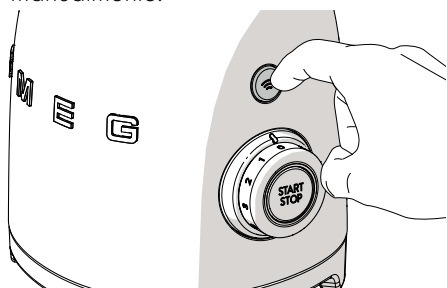




3. Posizionare il coperchio con il tappo dosatore sulla caraffa. Assicurarsi che il coperchio sia ben serrato.



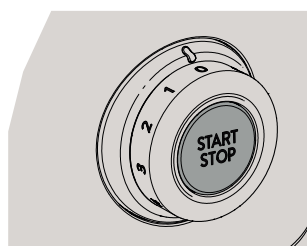
4. Inserire il cavo di alimentazione del frullatore nella presa di corrente. Il LED rosso si illuminerà per indicare la presenza di tensione. Selezionare la velocità desiderata o un programma pre-impostato tramite la manopola di comando o premere il pulsante **PULSE** per avviarlo manualmente.



i

Il pulsante **PULSE** può essere utilizzato da solo o in combinazione con le velocità comprese tra 1 e 3 per raggiungere la velocità massima.

5. Premere il pulsante **START** per iniziare a frullare. Consultare la tabella "3.5 Suggerimenti per l'impostazione della velocità" per maggiori informazioni sulla velocità più adatta da utilizzare.



i

Le velocità da 1 a 4 permettono di frullare in modo continuo. È possibile interrompere il funzionamento premendo il pulsante **STOP**.

È possibile variare la velocità in qualsiasi momento durante il processo di miscelazione.



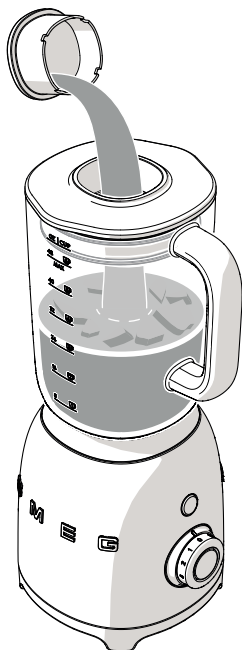
Importante

- Non operare alle velocità 1-4 per più di un minuto alla volta.
- Quando la caraffa del frullatore è quasi o del tutto piena (1,5 litri), si consiglia di appoggiare una mano sul coperchio del frullatore per evitare che si sposti durante il funzionamento.

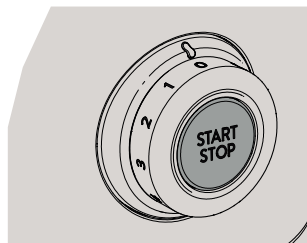


Uso

6. È possibile aggiungere altri ingredienti durante la miscelazione rimuovendo il tappo dosatore e versando gli ingredienti attraverso il foro del coperchio.



7. Al termine della miscelazione, se è stata selezionata una velocità da 1 a 4, premere il pulsante **STOP**, ruotare la manopola di comando su '0' e rimuovere la spina del frullatore dalla presa di corrente.



Cancellazione/interruzione del ciclo di miscelazione

È possibile cancellare o interrompere il ciclo di miscelazione in qualsiasi momento premendo il pulsante **START/ STOP**.



3.4 Funzioni

Blocco di sicurezza

Il frullatore è provvisto di un blocco di sicurezza che spegne il frullatore automaticamente alla rimozione della caraffa del frullatore. Dispone inoltre di un **dispositivo di protezione del motore** che interviene in caso di sovraccarico.

Funzione Smooth Start

La funzione Smooth Start consente l'avvio dell'apparecchio ad una velocità iniziale ridotta, indipendentemente dalla velocità impostata con la manopola di comando. La velocità aumenta progressivamente fino a raggiungere la velocità desiderata. La funzione Smooth Start permette di processare gli ingredienti in modo graduale per migliorare la miscelazione.



La funzione Smooth Start funziona solamente quando si seleziona una velocità compresa tra 0 e 4 e non funziona in combinazione con la modalità **PULSE** o i programmi **TRITAGHIACCIO** o **SMOOTHIE**.

Funzione PULSE

Premendo il pulsante **PULSE** il frullatore si aziona alla massima velocità.

Rilasciando il pulsante l'apparecchio si blocca immediatamente.

Si consiglia di utilizzare una quantità minima di 100gr e di non frullare per più di cinque secondi consecutivi, o 2 secondi se si utilizzano ingredienti secchi.



La funzione **PULSE** non funziona in combinazione con i programmi **TRITAGHIACCIO** o **SMOOTHIE**.

Programmi Tritaghiaccio e Smoothie

I programmi pre-impostati **'Tritaghiaccio'** e **'Smoothie'** modificano automaticamente la velocità per ottimizzare la miscelazione per un tempo impostato di default per poi disattivarsi automaticamente.

Utilizzare il programma **TRITAGHIACCIO** che funziona ad impulsi intensi e brevi per frullare bibite che contengono cubetti di ghiaccio o pezzi di frutta surgelata.

Utilizzare il programma **SMOOTHIE** per frullare frutta, gelato o yogurt e ottenere frullati densi e cremosi, centrifugati e frappè.

Tempo pre-impostato

Tritaghiaccio: circa 50 secondi

Smoothie: circa 60 secondi

Se si seleziona uno dei due programmi pre-impostati, dopo aver premuto il pulsante **START**, il frullatore inizia a funzionare automaticamente e il LED del pulsante centrale si illumina per indicare che il ciclo è attivo.



3.5 Suggerimenti per l'impostazione della velocità

Velocità	Adatta per
 PULSE	• Cubetti di ghiaccio • Carne • Opzione di pulizia automatica ("4.4 Utilizzo dell'opzione di pulizia automatica").
1 o 2	• Mousse/Sorbetti • Pastelle/Condimenti per insalate • Bibite ghiacciate miscelate
3 o 4	• Vellutate/Zuppe • Panna montata • Frappè/Frullati • Pesto/Purea di frutta o verdura
 SMOOTHIE	• Frullati e frappè • Frullati con frutta congelata
 TRITAGHIACCIO	• Cubetti di ghiaccio • Frutta/Verdura congelata sminuzzata



Le velocità indicate nella tabella sono indicative e possono variare a seconda della ricetta e dell'interazione fra gli ingredienti utilizzati.



Suggerimenti per utilizzare il frullatore

- Per ottenere risultati migliori si consiglia di tagliare a cubetti il cibo da frullare.
- Non utilizzare la funzione **PULSE** per più di 2 secondi alla volta quando si frullano ingredienti secchi. Potrebbe essere necessario interrompere il funzionamento per far scivolare con una spatola gli ingredienti lungo le pareti della caraffa del frullatore.
- Quando si frullano insieme ingredienti liquidi e secchi, si consiglia di inserire prima gli ingredienti liquidi e di aggiungere successivamente quelli secchi.
- Rimuovere i torsoli dalla frutta e le ossa dalla carne poiché possono danneggiare il gruppo lame.
- Non lasciare che i residui di cibo si secchino all'interno della caraffa e sulle lame per troppo tempo: potrebbero essere molto difficili da rimuovere. Se non è possibile rimuoverli immediatamente, versare un poco d'acqua calda e lasciare in ammollo.
- Non frullare cibi bollenti. Prima di frullare, lasciare raffreddare finché non raggiungono la temperatura ambiente.



4 Pulizia e manutenzione

4.1 Avvertenze



Uso non corretto
Pericolo di folgorazione

- Rimuovere la spina dalla presa di corrente prima di effettuare la pulizia del frullatore.
- Non immergere la base del motore in acqua o altri liquidi.



Uso non corretto
Rischio di danni alle superfici

- Non utilizzare getti di vapore per pulire l'apparecchio.
- Non utilizzare sulle parti trattate superficialmente con finiture metalliche (ad es. anodizzazioni, nichelature, cromature), prodotti per la pulizia contenenti cloro, ammoniaca o candeggina.
- Non utilizzare detergenti abrasivi o corrosivi (ad es. prodotti in polvere, smacchiatori e spugnette metalliche).
- Non utilizzare materiali ruvidi, abrasivi o raschietti metallici affilati.

4.2 Pulizia della base del motore

Per una buona conservazione delle superfici esterne occorre pulirle regolarmente al termine di ogni utilizzo, dopo averle lasciate raffreddare. Pulire con un panno morbido e umido e detergente neutro.

4.3 Pulizia della caraffa del frullatore e del gruppo lame

Pulire l'apparecchio seguendo le istruzioni nel paragrafo "3.2 Come rimuovere il gruppo lame".



Lame affilate
Pericolo di taglio

- Evitare di toccare le lame con le mani.
- Rimuovere il gruppo lame unicamente utilizzando il tappo dosatore.

4.4 Utilizzo dell'opzione di pulizia automatica

La caraffa del frullatore e il gruppo lame possono essere puliti utilizzando l'opzione di pulizia automatica:

1. Riempire la caraffa con acqua calda e detergente neutro.
2. Ruotare la manopola di comando sulla posizione **1**.
3. Premere il pulsante **START**.
4. Premere il pulsante **PULSE** per 2 secondi alla volta. Ripetere l'operazione una decina di volte.
5. Rimuovere la caraffa, svuotarla e risciacquarla.
6. Asciugare accuratamente.

4.5 Pulizia delle altre parti del frullatore

Il coperchio del frullatore e il tappo dosatore si possono lavare in acqua calda e sapone o in lavastoviglie.

Assicurarsi che siano completamente asciutti prima di riposizionarli sul frullatore.



4.6 Cosa fare se...

Problema	Possibile causa	Soluzione
Il motore non si avvia	Il motore si è surriscaldato.	Disconnettere dalla corrente elettrica e lasciare raffreddare il motore.
	La spina non è correttamente inserita nella presa di corrente.	Inserire la spina nella presa di corrente. Non utilizzare adattatori o prolunghie. Controllare che l'interruttore generale sia inserito.
	Il cavo è difettoso.	Contattare il Centro Assistenza autorizzato.
	Assenza di corrente elettrica.	Controllare che l'interruttore generale sia inserito.
Il frullatore vibra	Il frullatore non è appoggiato su un piano stabile.	Appoggiare il frullatore su una superficie stabile e piana.
	I piedini antiscivolo in gomma sono usurati.	Fare sostituire presso un Centro Assistenza autorizzato.
	Si è impostata una velocità troppo alta o il carico è eccessivo.	Impostare una velocità più bassa e controllare di non aver sovraccaricato la caraffa.



Pulizia e manutenzione

Problema	Possibile causa	Soluzione
Il frullatore si accende, ma le lame non girano	La caraffa non è stata inserita correttamente nella propria base.	Rimuovere la caraffa ed inserirla correttamente nella propria base.
Il frullatore si ferma durante il funzionamento	Il motore si è surriscaldato.	Disconnettere dalla corrente elettrica e lasciare raffreddare il motore.
Il LED rosso lampeggia ad intervalli regolari	La caraffa non è inserita correttamente nella base.	Controllare la posizione della caraffa nella base.
Il frullatore si ferma durante il funzionamento e il LED bianco lampeggia	Le lame potrebbero essersi inceppate.	Staccare la spina e liberare le lame utilizzando una spatola.



Nel caso il problema non sia stato risolto o per altre tipologie di guasti, contattare il servizio assistenza di zona.



5 Ricette

Mix di frutta

Ingredienti:

- 2 nettarine denocciolate (o sciroppate) e tagliate a pezzi
- 125 g di lamponi surgelati
- 125 g di fragole congelate
- 125 ml di succo d'arancia
- 125 ml di succo di mela

Esecuzione

1. Versare i pezzetti di nettarine e tutti i succhi nel vaso frullatore.
2. Aggiungere la frutta congelata.
3. Ruotare la manopola di comando sul programma **Smoothie** e azionare l'apparecchio premendo il pulsante **START**.
4. Far funzionare per 40 secondi.

Latte di soia

Ingredienti per 1 litro di latte di soia:

- 100 g di soia gialla
- 1,4 litri di acqua

Esecuzione

1. Lavare e mettere a mollo 100 g di soia gialla in acqua fredda, coprire e lasciare riposare per 18-24 ore.
2. Trascorse le 24 ore lavare bene la soia, scolarla e frullarla con 400 g di acqua a velocità **4** per 40 secondi, fino ad ottenere una crema omogenea.
3. Mettere sul fuoco una pentola capiente con 1 litro di acqua e portarla quasi a bollore.
4. Unire la soia frullata, schiumare l'eventuale schiuma formatasi. Cuocere 20 minuti dal bollore.
5. Spegner e lasciare riposare coprendo la pentola per altri 20 minuti.
6. Trascorso il tempo di riposo versare il latte ottenuto in una bottiglia filtrandolo, poco alla volta, con l'aiuto di un colino e di una garza sterile.
7. Aromatizzare e dolcificare il latte di soia a piacimento, con vaniglia, miele, malto, sciroppi vari.



Ricette

Panna montata

Ingredienti:

500 g di panna fredda
50 g di zucchero a velo

Esecuzione

1. Montare la panna a velocità **3** per 30 secondi circa.
2. Interrompere il ciclo premendo il pulsante **STOP**.
3. Unire lo zucchero a velo.
4. Selezionare la velocità a **4** e frullare per 15 secondi fino a montare il composto.

Purea vegetale

Ingredienti:

300 g di zucchine
100 g di acqua o brodo

Esecuzione

1. Cuocere a vapore le zucchine e tagliarle a tocchetti.
2. Trasferire i pezzetti di verdure nel frullatore e frullare a velocità **4** per 45 secondi aggiungendo poco alla volta dell'acqua o del brodo vegetale per ottenere una crema omogenea.



È possibile montare la panna anche senza zucchero a velo.

In questo caso, selezionare la velocità **4** e frullare per 40 secondi.

Dear Customer,

Thank you for purchasing a Smeg 50's Style blender.

By choosing one of our products, you have selected an appliance which combines iconic style with innovative technical design and attention to detail.

This appliance co-ordinates perfectly with other Smeg products, or works equally great as a standalone statement piece in your kitchen.

We hope you enjoy using your new appliance!

For any further information please visit: www.smeg.com.



Model BLF01
Blender

Contents

1	Instructions	28
1.1	Introduction	28
1.2	This user manual	28
1.3	Intended use	28
1.4	General safety instructions	29
1.5	Manufacturer liability	31
1.6	Identification plate	31
1.7	Disposal	31
2	Description	32
2.1	Product description	32
2.2	Description of parts	33
3	Use	36
3.1	Before first use	36
3.2	How to remove the blade assembly	36
3.3	Using the blender	38
3.4	Functions	41
3.5	Speed setting suggestions	42
4	Cleaning and care	44
4.1	Instructions	44
4.2	Cleaning the motor base	44
4.3	Cleaning the blender jug and blade assembly	44
4.4	Using the Self-clean option	44
4.5	Cleaning other blender parts	44
4.6	What to do if...	45
5	Recipes	47



Instructions

1 Instructions

1.1 Introduction

Key information for the user:

Instructions



General information on this user manual, on safety and final disposal.

Description



Appliance description.

Use



Information on using your appliance.

Cleaning and care



Information for proper cleaning and maintenance of the appliance.

Recipes



List of recipes.



Safety instructions



Information



Advice

1.2 This user manual

This user manual is an integral part of the appliance and must therefore be kept in its entirety and within the user's reach for the whole working life of the appliance.

1.3 Intended use

- Use the appliance only indoors.
- This appliance has been designed specifically for domestic use. It must only be used for blending, emulsifying ingredients and crushing ice. Do not use the appliance for anything other than its intended use.
- This appliance is intended for use in a home environment. Every other use is considered improper. It also can be used in:
 - Staff kitchen areas in shops, offices and other working environments
 - Farm houses
 - By guests in hotels, motels and other residential type environments
 - Bed and breakfast type environments.
- The appliance is not designed to operate with external timers or with remote-control systems.
- This appliance may not be used by people of reduced physical, sensory or mental capacity, or without sufficient experience and knowledge (including children), unless they are supervised or instructed by adults who are responsible for their safety.
- Children must never play with the appliance. Keep the appliance out of children's reach.



1.4 General safety instructions

Follow all safety instructions in order to be able to use the appliance safely.

- Read this user manual carefully before using the appliance.
- Switch off the appliance immediately after use.
- Do not leave the appliance unattended while it is operating.
- Disconnect the appliance from the power socket as soon as you have finished using it and before cleaning it.
- Do not immerse the appliance, the power cord or the plug in water or any other liquid.
- Do not use the appliance when the power cord or the plug is damaged or when the appliance has been dropped or is damaged in any manner.
- If the supply cord is damaged, it must be replaced by the service agent in order to avoid a hazard.
- The cable is short to prevent accidents. Do not use an extension cord.
- Ensure the cord does not come into contact with sharp edges.
- Do not pull on the cord to unplug it from the power socket.
- Do not place the appliance above or near lit hob burners or electric rings, inside an oven or near other heat sources.
- Do not try to repair the appliance yourself or without the intervention of a qualified engineer.
- In the event of a fault, repairs should only be carried out by a qualified engineer.
- Do not modify the appliance.
- Never try to put out a fire or flames with water: turn off the appliance and remove the plug from the socket and smother the flames with a fire blanket or other appropriate cover.
- Disconnect the appliance from the power socket as soon as you have finished using it and before cleaning it.



Instructions

For this appliance

- Avoid touching moving parts. Keep hands, hair and clothing, and utensils away from the blades during operation, to prevent personal injury and/or damage to the appliance.
- Care shall be taken when handling and emptying the jug and during cleaning.
- Always disconnect the blender from the supply if it is left unattended and before assembly, disassembly or cleaning. Unplug the blender when it is not being used, before cleaning it and if you notice any fault. Let the appliance cool down before cleaning.
- Always use the blender with the lid in place.
- Check that the lid is correctly closed before turning on the blender.
- Do not overfill the blender (max. 1.5 litres).
- Do not use the blender with parts or accessories of other manufacturers.
- Only use original spare parts. The use of spare parts not approved by the manufacturer could lead to fires, electric shocks or personal injury.
- Only place the blender on level and dry surfaces.
- Do not run the blender empty.
- Do not use the blender as a storage compartment. Keep it empty before and after use.
- Let liquids cool down to room temperature before placing them in the blender.
- Avoid touching moving parts, such as the blade assembly.
- To avoid the risk of cuts, and damage to the blender, do not put your hands or tools like cutlery, etc. into the blender jug while it is operating. You can use a wood or plastic spatula only when the blender is off.
- Do not use harsh detergents or sharp objects to wash or remove residues from the blender jug.



1.5 Manufacturer liability

The manufacturer shall not be liable for damage to persons or property caused by:

- Use of the appliance other than as envisaged
- Not having read the user manual
- Tampering with any part of the appliance
- Use of non-original spare parts
- Failure to observe the safety instructions

1.6 Identification plate

The identification plate bears the technical data, serial number and brand name of the appliance. Do not remove the identification plate for any reason.

1.7 Disposal



This appliance must be disposed of separately from other waste (Directive 2012/19/EU). The appliance does not contain substances in quantities sufficient to be considered hazardous to health and the environment, in accordance with current European directives.

- **Old appliances do not belong in household waste!** To comply with current legislation, old appliances, on reaching the end of their useful lives, should be taken to a disposal facility where they can be sorted. In this way, any valuable material contained in the old appliances can be recycled, helping to protect the environment. The relevant local authorities or their waste disposal operators can provide further information.

The appliance is packed in non-polluting and recyclable materials.

- Dispose of the packing materials at an appropriate disposal facility.



Plastic packaging Danger of suffocation

- Do not leave the packaging or any part of it unattended.
- Do not let children play with the plastic bags.



Electrical voltage Danger of electrocution

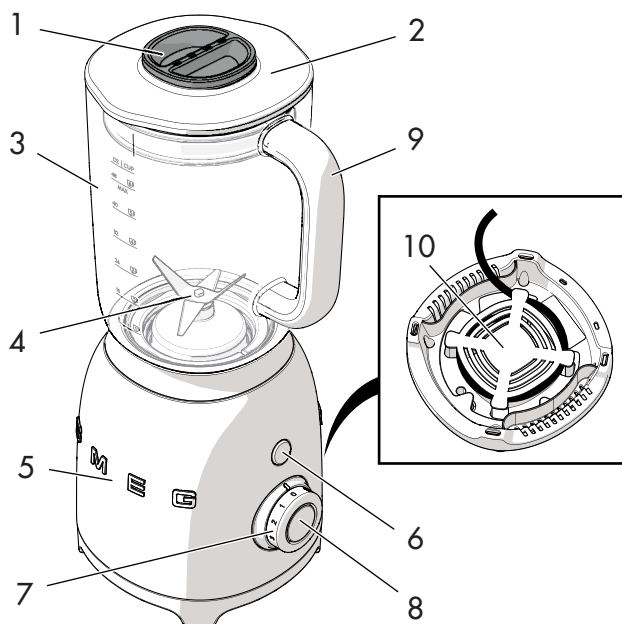
- Disconnect the main power supply.
- Disconnect the power cable from the electrical system.



Description

2 Description

2.1 Product description



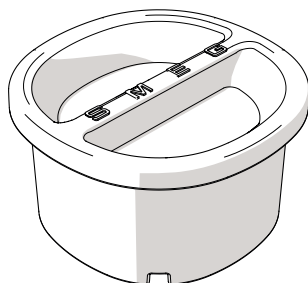
Model BLF01 - Blender

- 1 Measuring cup
- 2 Lid with pouring hole
- 3 1.5 litre Tritan™ BPA-Free jug
- 4 Detachable blade assembly
- 5 Motor base
- 6 Pulse button
- 7 Control knob
- 8 START/STOP button
- 9 Handle
- 10 Built-in cord wrap



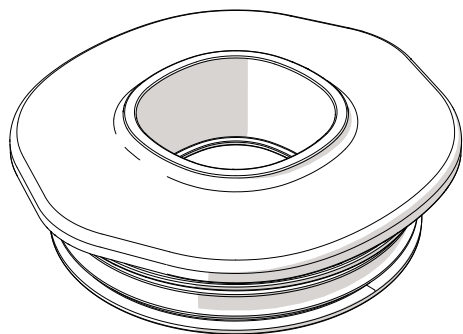
2.2 Description of parts

Measuring cup (1)



Convenient measuring cup. It can be used for measuring ingredients and as a device to unscrew the blade assembly from the base of the jug. See "3.2 How to remove the blade assembly".

Lid with pouring hole (2)



The lid has a seal that closes the blender jug tightly. It has a pouring hole in the centre to make the addition of ingredients easier during blender operation.

1.5 litre Tritan™ BPA-Free jug (3)



The large-capacity jug is made of Tritan™, which is a safer, lighter and easier to handle material than glass. Tritan™ is also resistant to impacts, scratches and heat.

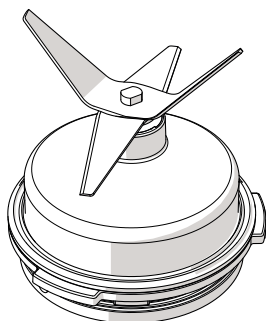
The jug features a handy lip and is marked in both litres and cups.

It has a capacity that ranges from a minimum of 0.25 l (1 cup) to a maximum of 1.5 litres (6 cups).



Description

Detachable blade assembly (4)



Stainless steel detachable blade to crush ice cubes and prepare delicious smoothies, milkshakes, cocktails, etc.

It can be unscrewed from the base of the jug to be cleaned.



Sharp blades

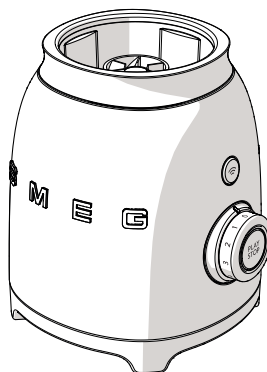
Danger of cuts

- Never touch the blades with your hands.
- Remove the blade assembly only using the measuring cup, as indicated in section "3.2 How to remove the blade assembly".



The accessories intended to come into contact with food are made of materials that comply with the provisions of current legislation.

Motor base (5)



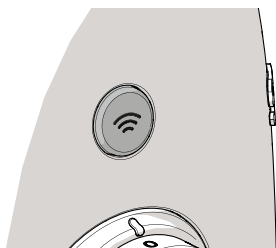
The base houses a powerful 800 watt motor.



To avoid damage to the blender, the appliance is equipped with a **safety lock system** which shuts off its operation when the jug is removed. It also features a **motor safety cut-out** which trips if the motor is overloaded.

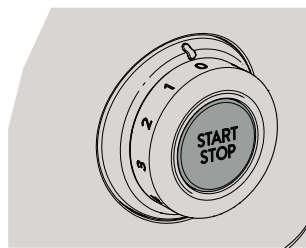


Pulse button (6)



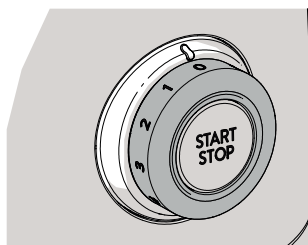
Press this button to get the maximum blending speed. Perfect for most demanding tasks. It can be used for a maximum of 2 seconds at a time.

START/STOP button (8)



Press this button to start/stop blender operation.

Control knob (7)



The control knob allows you to select one of the four speeds available from 1 to 4.

The control knob features also 2 pre-set programs: smoothie and ice crush.

See "3.5 Speed setting suggestions" for further information on which speed to use.



Use

3 Use



Danger of electrocution

- Plug into a earthed 3-prong outlet.
- Do not remove the earth prong.
- Do not use an adapter.
- Do not use an extension cord.
- Failure to follow these instructions could result in death, fire, or electrical shock.

3.1 Before first use

1. Remove all stickers and labels from the blender and clean the motor base with a damp cloth.
2. Remove the blender jug.
3. Remove the blade assembly (see "3.2 How to remove the blade assembly").
4. Wash and dry thoroughly (see "4.3 Cleaning the blender jug and blade assembly").



Danger of sudden start-up

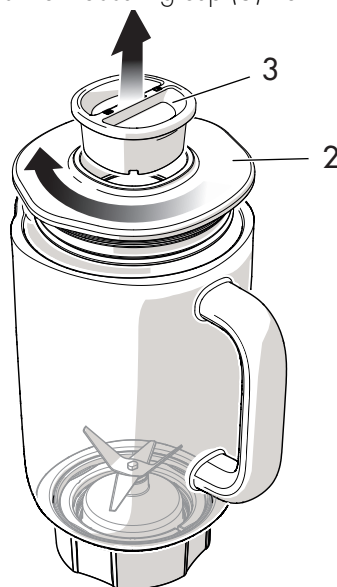
- Make sure the blender is unplugged before fitting or removing the blade assembly.

3.2 How to remove the blade assembly

1. Take hold of the handle (1) and lift the blender jug.

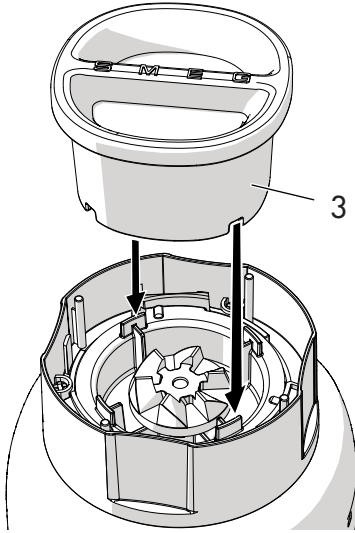


2. Remove the lid (2) from the blender jug and the measuring cup (3) from the lid.

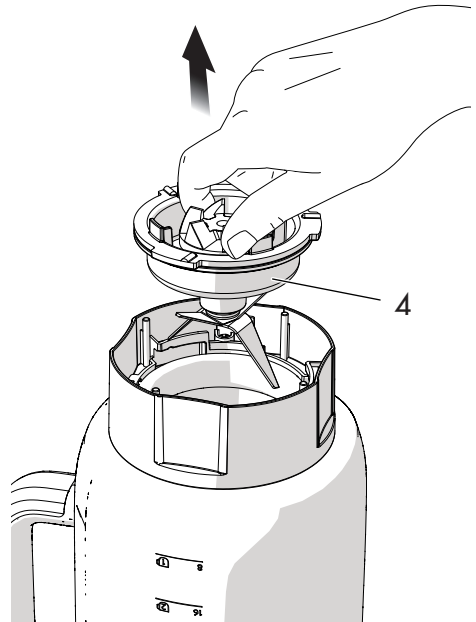
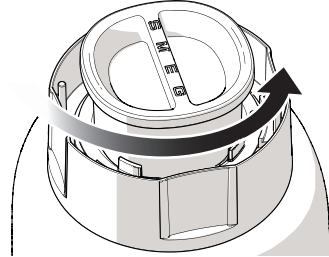




3. Turn the jug upside down and place it on a flat surface. Insert the open end of the measuring cup (3) into the base of the blade assembly.



4. Unscrew the blade assembly (4) from the jug body, turning the measuring cup anti-clockwise. Manually remove the blade assembly (4) from the jug body.



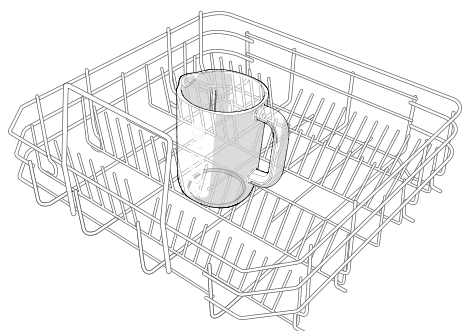


Use

5. Wash the jug, measuring cup, and blade assembly in warm soapy water or in the dishwasher (apart from the blade assembly).



The blender jug can be washed in a dishwasher without placing it upside down (see picture below).



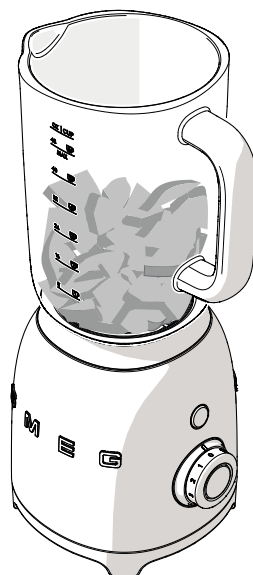
6. Dry thoroughly and replace the blade assembly into the jug body following the operations indicated previously in the reverse order. Make sure to insert the blade assembly until it locks into place.

3.3 Using the blender

1. Insert the blender jug onto the motor base.



2. Introduce the ingredients into the jug, paying attention not to exceed the maximum capacity (1.5 l - 6 cups).





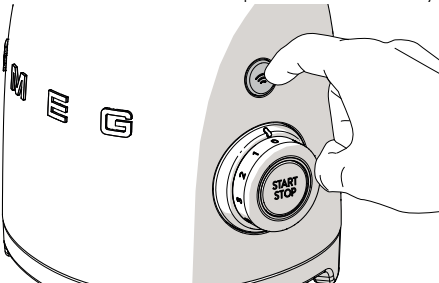
3. Position the lid with the measuring cup fitted onto the blender jug. Ensure the lid is firmly screwed on.



4. Plug the blender into a power socket and switch the socket on.

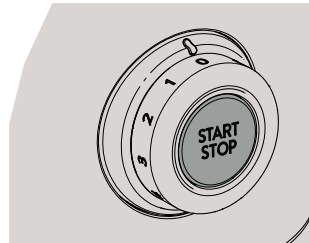
The red LED will turn on to indicate the presence of power.

Select the desired speed or a pre-set program using the control knob or press the **PULSE** button to operate it manually.



The **PULSE** button can be used alone or in combination with speeds 1 to 3 to reach the maximum speed.

5. Press the **START** button to start blending. See the table "3.5 Speed setting suggestions" for further information on the most suitable speed to use.



Speeds 1 - 4 allow continuous blending. You can stop the operation by pressing the **STOP** button.

The speed can be changed at any time during the blending process.



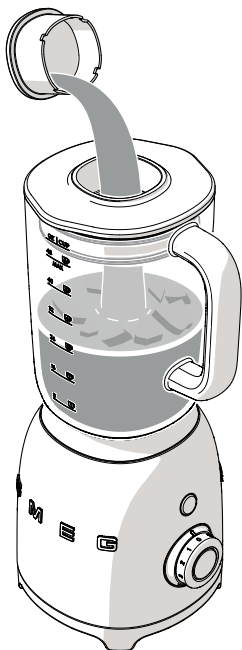
Important

- Do not operate manual speeds 1-4 for more than 1 minute at a time.
- When the blender jug is filled up to or near the maximum capacity (1.5 l), place one hand on the blender lid to avoid displacement of the lid during operation.

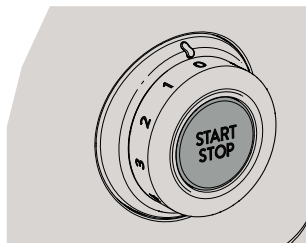


Use

6. You can add further ingredients whilst blending by removing the measuring cup and pouring ingredients through the hole in the lid.



7. If you have selected a speed between 1 and 4, when you have finished blending, press the **STOP** button, turn the knob to '0' and unplug the blender.



Cancelling/stopping the blending cycle

The blending cycle can be cancelled or stopped at any time pressing the **START/STOP** button.



3.4 Functions

Safety lock system

The blender has a safety lock system which automatically shuts off the blender when the jug is removed from the base. It also features a **motor safety cut-out** which trips if the motor is overloaded.

Smooth Start

The Smooth Start function starts the appliance up with a reduced initial speed, regardless of the speed set with the control knob.

The speed progressively increases until the set speed is reached.

The Smooth Start function allows you to process ingredients gradually to improve the blending results.



The Smooth Start only works when a speed between 0 and 4 is selected and does not work with the **PULSE** mode, **ICE CRUSH** or **SMOOTHIE** programs.

PULSE function

Pressing the **PULSE** button operates the blender at maximum speed.

The blender shuts off immediately when the button is released.

You should use a minimum quantity of 100g, not blending for more than 5 seconds consecutively, or 2 seconds when using dry ingredients.



The **PULSE** function does not work in combination with the **ICE CRUSH** or **SMOOTHIE** programs.

Ice Crush and Smoothie

The pre-set 'Ice Crush' and 'Smoothie' programs automatically adjust the speed to optimise blending results for a certain factory set time, then turn off automatically.

Use the **ICE CRUSH** program with short bursts of power when blending drinks containing ice cubes or frozen fruit.

Use the **SMOOTHIE** program to blend fruits, ice cream and yoghurt into thick smoothies, blended drinks and milkshakes.

Pre-set time

Ice crush: approximately 50 seconds

Smoothie: approximately 60 seconds

When one of the two above mentioned pre-set programs is selected, and after you have pressed the **START** button, the blender will automatically start to operate and the central knob LED lights up to indicate that the cycle is activated.



Use

3.5 Speed setting suggestions

Speed	Suitable for
 PULSE	• Ice cubes • Meat • Self-clean option ("4.4 Using the Self-clean option").
1 or 2	• Mousses/Sorbets • Batters/Salad dressings • Blended frozen drinks
3 or 4	• Soups/Creamed soups • Whipped cream • Milkshakes/Smoothies • Pesto/Fruit or vegetable purées
 SMOOTHIES	• Smoothies and milkshakes • Smoothies with frozen fruit
 ICE CRUSH	• Ice cubes • Pieces of frozen fruit/vegetables



The speeds indicated in the table are approximate and can vary depending on the recipe and on the interaction of the different ingredients used.



Tips for using your blender

- Cut into cubes the food to be blended to obtain better results.
- Use the **PULSE** function for no more than 2 seconds at a time when blending dry mixtures. You might need to stop operation to push the ingredients down the sides of the blender jug with a spatula.
- When blending together liquid and dry ingredients, blend liquids first and then add the dry ingredients.
- Always remove stones from fruit and bones from meat as they can damage the blade assembly.
- Do not leave food residues dry on the jug and blades for too long, as they could be very difficult to remove. If you cannot clean it right away, pour a little warm water and let it soak.
- Do not process hot food. Let it cool to room temperature before blending.



Cleaning and care

4 Cleaning and care

4.1 Instructions



Improper use Danger of electrocution

- Unplug the blender before cleaning it.
- Do not immerse the motor base in water or other liquids.



Improper use Risk of damage to surfaces

- Do not use steam jets to clean the appliance.
- Do not use cleaning products containing chlorine, ammonia or bleach on parts with metallic finishes (e.g. anodised, nickel- or chrome-plated).
- Do not use abrasive or corrosive detergents (e.g. powder products, stain removers and metallic scourers).
- Do not use rough or abrasive materials or sharp metal scrapers.

4.2 Cleaning the motor base

To keep the blender's motor base outside surfaces in good condition, they should be cleaned regularly after use. Use a damp and soft cloth with mild detergent.

4.3 Cleaning the blender jug and blade assembly

Clean the appliance following the instructions in section "3.2 How to remove the blade assembly".



Sharp blades Danger of cuts

- Never touch the blades with your hands.
- Remove the blade assembly only using the measuring cup.

4.4 Using the Self-clean option

The blender jug and blade assembly can be cleaned using the Self-clean option:

1. Fill the jug with warm water and mild detergent.
2. Turn the control knob to the setting **1**.
3. Press the **START** button.
4. Press the **PULSE** button for 2 seconds at a time. Repeat the operation about 10 times.
5. Remove the jug, empty and rinse it.
6. Dry thoroughly.

4.5 Cleaning other blender parts

The blender lid and measuring cup can be washed in warm soapy water or in the dishwasher.

Make sure they have dried completely before fitting them back on the blender.



4.6 What to do if...

Problem	Possible cause	Solution
The motor will not start	The motor has overheated.	Unplug the blender and leave the motor to cool.
	The plug is not properly inserted in the power socket.	Insert the plug into the power socket. Do not use adaptors or extensions. Check that the house main breaker is on.
	The cable is defective.	Contact an Authorised Service Centre.
	Lack of power.	Check that the house main breaker is on.
The blender vibrates	The blender is not resting on a stable surface.	Place the blender on a flat, stable surface.
	The anti-slip rubber feet are worn.	Have them replaced at an Authorised Service Centre.
	The speed used is too high or the load is excessive	Set a lower speed and ensure the jug has not been overfilled.



Cleaning and care

Problem	Possible cause	Solution
The blender switches on, but the blades do not turn	The jug has not been correctly locked into its base.	Remove the jug from its base and lock it into place.
The blender stops while operating	The motor has overheated.	Unplug the blender and leave the motor to cool.
The red LED of the knob flashes at regular intervals	The jug is not correctly inserted in the base.	Check the position of the jug on the base.
The blender stops during operation and the white LED flashes	The blades may have jammed.	Unplug the blender and free the blades with a spatula.



If the problem has not been resolved or in the event of another type of fault, contact your local technical support centre.



5 Recipes

Mixed fruit smoothie

Ingredients:

- 2 nectarines, stones removed (or tinned peaches in syrup) and cut into pieces
- 125 g frozen raspberries
- 125 g frozen strawberries
- 125 ml orange juice
- 125 ml apple juice

Method

1. Put the nectarine pieces and the juices into the blender jug.
2. Add the frozen fruit.
3. Turn the control knob to the **Smoothie** program and start the blender by pressing the **START** button.
4. Let it run for 40 seconds.

Soy milk

Ingredients for 1 litre of soy milk:

- 100 g yellow soy beans
- 1.4 litres water

Method

1. Wash 100 g of yellow soy beans in cold water, discard the water then cover in fresh cold water and leave them to soak for 18-24 hours.
2. After they have soaked for 24 hours, wash the soy beans, drain them and then blend them with 400 ml of water at speed **4** for 40 seconds, until you obtain a homogeneous paste.
3. Bring the remaining 1 litre of water almost to the boil in a pan.
4. Add the blended soy and cook, skimming off any foam which might form. Cook for 20 minutes from when it begins to boil.
5. Turn off the heat and leave to rest for 20 minutes.
6. After 20 minutes, strain the soy milk through clean muslin into a bottle.
7. You can sweeten and flavour the milk as you prefer, using vanilla, honey, malt extract or various syrups.



Recipes

Whipped cream

Ingredients:

500 g cold whipping cream

50 g icing sugar

Method

1. Whip the cream in the blender at speed **3** for approximately 30 seconds.
2. Stop the operation by pressing the **STOP** button.
3. Add the icing sugar.
4. Select speed **4** and whip for a further 15 seconds, until the cream is fully whipped.

Vegetable purée

Ingredients:

300 g courgettes

100 g water or vegetable stock

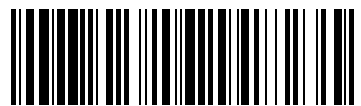
Method

1. Steam the courgettes and cut them into rounds.
2. Put the pieces in the blender and blend for 45 seconds at speed **4**, adding a little water or vegetable stock at a time until you obtain a homogeneous purée.



The cream can also be whipped without icing sugar.

In this case, select speed **4** and whip for 40 seconds.



914778186/C

メーカーは製品改良のため、予告なく変更する権利を有します。そのため、この取扱説明書に記載されている内容は参考資料であり、必ずしもその正確性を保証するものではありません。

Il costruttore si riserva di apportare senza preavviso tutte le modifiche che riterrà utili al miglioramento dei propri prodotti. Le illustrazioni e le descrizioni contenute in questo manuale non sono quindi impegnative ed hanno solo valore indicativo.

The manufacturer reserves the right to make any changes deemed useful for improvement of its products without prior notice. The illustrations and descriptions contained in this manual are therefore not binding and are merely indicative.

Le fabricant se réserve la faculté d'apporter, sans préavis, toutes les modifications qu'il jugera utiles pour l'amélioration de ses produits. Les illustrations et les descriptions figurant dans ce manuel ne sont pas contraignantes et n'ont qu'une valeur indicative.

Der Hersteller behält sich vor, ohne vorherige Benachrichtigung alle Änderungen vorzunehmen, die er zur Verbesserung seiner Produkte für nützlich erachtet. Die in diesem Handbuch enthaltenen Illustrationen und Beschreibungen sind daher unverbindlich und dienen nur zur Veranschaulichung.



914778186/C